———	l台高等専	門学校	開講年度 令和02年度 (2	2020年度)	授業科目				
科目基礎			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
科目番号		0036		科目区分	専門/選択	₹			
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位:	2			
開設学科		機械・二	Eネルギーコース	対象学年	4				
開設期		前期		週時間数	2				
教科書/教	材								
担当教員		浅田 格							
到達目標	.								
材料のもてる内容を理	つ物理的性質	質を左右するで、さまざる	る物質中の電子の振る舞いについてイメ まな物性を実際の現象と理論やそれに基	ージでき、材料開発の づく数式などを用い	の基礎的素養を て、自らの理解の	身につける。材料物性I, IIに継続す カトで説明していくことができる。			
ルーブリ					2, 112 - 113.				
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	ベルの目安未到達レベルの目安				
固体の比熱	Ņ.		固体の比熱のモデルを導出でき、 比熱の温度変化を説明できる。また、格子振動に由来する固体の熱 伝導・熱膨張について、その変化 を比熱と関連させて説明できる。	固体の比熱の温度変 る。また、格子振動 体の熱伝導・熱膨張 できる。	動に由来する固 四体の比熱のモデルを説明				
古典的自由	由電子モデル	L	古典的な自由電子モデルにより、 移動度や緩和時間を理解して計算 できる。電流密度を計算できる。	古典的な自由電子モ 移動度や緩和時間を	デルにより、 計算できる。	古典的な自由電子モデルにより、 移動度や緩和時間を計算できない。			
エネルギー	-バンドの J	形成	結晶中のエネルギー状態について 、エネルギーバンドの形成を理解 し、自由電子、周期ポテンシャル 中のエネルギー状態を式で記述で きる。	結晶中のエネルギー 、エネルギーバント し、自由電子、周期 中のエネルギー状態。	ドの形成を理解 用ポテンシャル	結晶中のエネルギー状態について、エネルギーバンドの形成を理解しておらず、自由電子、周期ボテンシャル中のエネルギー状態を式で説明できない。			
尊体・半導	尊体・絶縁(— ——— 本	導体、半導体、絶縁体のエネルギ ーバンドと導電性の違いを図示し て説明できる。	導体、半導体、絶縁 ーバンドと導電性の て説明できる。	ーー 体のエネルギ)違いを図示し	導体、半導体、絶縁体のエネルギーバンドと導電性の違いを説明できない。			
半導体			真性半導体の状態密度を導出して 模式図を描き、伝道機構を説明で きる。	真性半導体の状態密 描き、伝道機構を訪		真性半導体の状態密度を理解して おらず、伝道機構を説明できない 。			
不純物半導	停 体		真性半導体と不純物半導体の違いを説明できる。p型、n型半導体の違いをエネルギーバンド図を用いて説明できる。不純物半導体の導電率の温度変化を図示して、その機構を説明できる。	真性半導体と不純物を説明できる。p型違いをエネルギー/ て説明できる。	、n型半導体の	真性半導体と不純物半導体の違いを理解していない。p型、n型半導体の違いをエネルギーバンド図に描くことができない。			
学科の到	引達目標項	頁目との 関	具係						
JABEE D1	L 専門分野(こ関する工	業技術を理解し、応用する能力						
教育方法	法等								
既要		能性を打	才料の開発には、材料の持つ物理的、化 きたせる際に重要な電気的、熱的、光学 生質と現象の本質的な理解を目的とする	的、磁気的な諸性質を	雪重要となってい を左右する基本的	Nる。特に物性の理解は、材料に機 的な現象を捉える上で必要である。 			
授業では教 物性値を対 予習:ショ			教科書と配布図面を利用しながら説明を進める。その復習として、物性の理解を確認するために、説明問題、 求める問題などの演習課題を配付するので、次回授業の時に提出すること。 ラバスに示した授業内容について、テキストを読んでおくこと。 業内容について、現象の理解として、図を用いて説明する文章が書けるようにすること。						
注意点		物理、原	に用物理および材料物性I, IIIでの学習内 生元素を除く元素記号を学習するテスト	N容を十分理解してお					
	 5ī	C //X/3/11	エルポモダトル米配りで于白ッのア人ト	タ つ00					
		週	授業内容	泪	 ごとの到達目標				
前期		1週	1.量子数と状態		:子数とエネルギー状態の演習を通して理解を深める				
	1stQ	2週	2.格子振動と固体の比熱	。 格 説	。 格子振動の復習。格子振動が関わる物性とフォッ 説明できる。アインシュタインモデル、デバイの モデルを導出して説明できる。				
		3週	3.固体の比熱 〜固体の熱伝導・熱膨張〜			説明できる。 熱の考え方を理解できる。			
		4週	4.結晶中のエネルギー状態 ~~自由電子模型、エネルギーバンド	での形成~	気伝導の古典的 ドの形成を理解	デルの理解をする。 エネルギー/ る。			
		5週	4.結晶中のエネルギー状態 〜金属の自由電子モデル〜	固体中の自由電子の		の挙動を説明できる。			
		6週	4.結晶中のエネルギー状態 〜周期ポテンシャル場中の電子〜	周:	周期ポテンシャル場中にある電子の運動を説明でき 。				
		7週	4.結晶中のエネルギー状態 ~周期ポテンシャル場中の電子~		周期ポテンシャルと電気伝導性を理解する。				
		8週	5.半導体材料と物性 ~半導体の種類、真性半導体~		半導体の種類について説明できる。不純物半導体 徴を真性半導体と区別して説明できる。				
		9週	5.半導体材料と物性 ~不純物半導体の性質~		不純物半導体の添加元素の特徴、エネルギーバント 不純物準位および伝導機構について説明できる。				
	2ndQ	10週	5.半導体材料と物性 〜半導体界面物性〜	<u></u>	金属-半導体接触、pn接合について図を用いて説明さいさらに応用デバイスを説明できる。				
	1	1	İ	H/m	物質の誘電性について理解して説明でき、さらに応見 デバイスを説明できる。				

		12週	7.磁性材料と物性 ~磁性の起源~				磁性の基礎、磁気モーメントの導出ができる。					
		13週	7.磁 ~物	性材料と物性 質の磁性〜		磁性の分類と基本的な物				加質の持つ磁性を説明できる。		
		14週		体の光学的性質 の吸収と反射、			物質が持つ光学的性質について理解し、それぞれの現象を説明できる。					
		15週		体の光学的性質 電効果、光材料			光電効果の原理を図示して説明できる。基本的な光材 料の種類と特徴について説明できる。					
		16週										
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類		分野	学習内容		学習内容の到達目標				到達レベル 授業週			
評価割合												
	Ē	式験	発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	計		
総合評価割合		80			0	0	0	20	10	00		
基礎的能力		0			0	0	0	0	0			
専門的能力		80			0	0	0	20	10	00		
分野横断的能力		0			0	0	0	0	0			